

損保ジャパンDC証券 受託資産残高3,000億円突破

～確定拠出年金分野での「お客さま評価日本一」をめざして～

損保ジャパンDC証券株式会社

NKS Jグループの確定拠出年金専門会社である損保ジャパンDC証券株式会社（以下「損保ジャパンDC証券」、社長：原 祐二）において、受託した確定拠出年金の資産残高（個人別管理資産額）が、2013年9月末時点で3,000億円を突破いたしました。

損保ジャパンDC証券は、プラン導入の支援から運営管理までの包括的なサービスを1社で提供する「バンドルサービス」を採用し、きめ細やかなサービスとローコストを実現した結果、おかげ様で多くのお客さまからご支持をいただき、ご加入者様も2013年4月末で20万人を超え、着実に受託資産残高を伸ばしてまいりました。

厚生年金基金制度の見直しや、確定給付型年金の積立不足問題を背景に確定拠出型年金の導入機運が高まると予想されることや、マッチング拠出制度および資格喪失年齢の引き上げ等の制度改定により、一層の利便性の向上が見込まれることから、今後も確定拠出年金制度の普及が期待されています。

損保ジャパンDC証券は、引き続き、システムやサービスの向上に努め、業界トップクラスの受託実績と「お客さま評価日本一」を目指します。

1. 損保ジャパンDC証券が受託した企業型・個人型確定拠出年金の加入者数・受託資産残高

加入者数： 203千人

受託資産残高： 3,074億円

（注）2013年9月末現在。提携金融機関からの再委託を含む。

2. 損保ジャパンDC証券の確定拠出年金事業と特色

損保ジャパンDC証券は、企業年金の専門家集団による確定拠出年金専門会社として1999年5月に設立され、確定拠出年金事業を展開しています。

損保ジャパンDC証券では、運用商品の情報提供などの運用関連業務から加入者の運用情報を保有する記録関連業務までのすべての機能・サービスを一元的に提供する「バンドルサービス」を採用しており、お客さま窓口の一本化を実現することで、高品質で利便性の高いサービスを低コストで提供しています。

今後も確定拠出年金へのニーズが高まる中、NKS Jグループでは引き続き全国のお客さまに「バンドルサービス」による確定拠出年金プランを幅広くご提案していきます。

【ご参考】

損保ジャパンDC証券株式会社

本社所在地 東京都新宿区西新宿 1 - 2 5 - 1
代表者 取締役社長 原 祐二
従業員数 1 0 4 名 (2 0 1 3 年 3 月 末 現 在)
主な事業内容 確定拠出年金運営管理業務、投資信託販売業務
資本金 3 0 億 円 (2 0 1 3 年 3 月 末 現 在)
株主 株式会社損害保険ジャパン (出 資 比 率 1 0 0 %)

確定拠出年金 2 0 1 3 年 8 月 末 取 扱 実 績

企業型規約承認件数 6 3 8 件 (業 界 計 : 4,285 件)
規約承認企業数 1, 3 7 4 社 (業 界 計 : 17,518 社)

(注) 提携金融機関からの再委託を含む。

以上